

自由詠

会議だって飲み会だって
なんでもオンラインで済む
でもアナログ人間の私は
やっぱり人に触れたい
感情を肌で感じたい

松本 晴美



題詠『水』

じゅく、じゅく、
ごっくん!
冷えた水を飲みこむ
食道の形が
見える気がする

杉下 啓恵

縮こまってなんか
いられない
空を仰ぎ
思いつきり深呼吸
あゝ いい気持

玉田 久美子

地上に生まれ出たこと
喜んでいるか
驚いているか
梅雨空に
小さく澄んだ初蝉の声

高原 美智子

大量の雨が止んで
ホッとすると ひとつき
蝉の声がする
カナカナカナと
静かに かすかに・・・

宮島 かつえ



空気が通るなら
ウィルスも通る?
マナーかもねと諦めて
暑さ我慢の
マスク生活

杉下 啓恵

固いつぼみを
ほごいてゆくの
水と光
満ち足りたら
満開の美しさの極み

玉田 久美子

踏まれても 疎まれても
したたかに生きてゆく
水がなけりゃ 土の中をズンズンと
それがオイラの心意気さ
名前知りたい? 雑草だよ

大槻 幸子

水さえあれば
人は生活出来ると言っ
その命の水が
時として
人の命を奪う

松本 晴美

流れる水は
生きている
よごんだ水は
朽ちてゆく
流れる水でありたい

杉本 明美